

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	10	ケアプランを日々の生活支援に活用できていない	日々の支援内容を反映したケアプラン作成が出来る。	見本を作製する。ミーティングで見本を基に学習する。(ニーズ・目標・具体的な支援内容の立て方・書き方、どうしてそのように書くのかの理由を説明) ケアプラン作成時に再度ミーティングでの内容を指導し、ケアプラン作成をする。	1 か月	ミーティングにてケアプランの学習を済ませ、学習内容を踏まえながらケアプランを作成している。
			ケアプランと本人の現状とを確認して、取り組み内容を見直せる。	月1回のミーティング時にケアプランを基にして、各利用者さんの先月の生活状況 今後取り組む内容・目標を話し合う。話し合いの内容は、ケアプラン用紙に記入する。	2 か月	ケアプランを使いながら今月の目標を決めることで、自分たちのつくったケアプランに接する機会が多くなった。ケアプランを木人として、各利用者さんの事を話し合うので、話があちこち飛ばず、取り組みを決めることが出来る
			見直した取り組み内容を踏まえて日々の生活支援を行い記録に残せる。	個々の利用者に決めた取り組み目標を、全員分を1枚の用紙に記入し、1枚は張り出す。もう1枚は記録用紙にファイリングし、今月の目標を確認しやすい環境をつくる。各利用者の「取り組み内容」と「取り組んだ時このような様子を記録してほしい」という指示を、記録用紙に掲示する。	5 か月	目標・取り組み内容をリビング・記録用紙に掲示することで、スタッフがミーティングで話し合った内容を何度も確認することが出来ている。また、その日は実施できなかった事項も、個々の利用者の記録用紙に、「取り組んでほしい内容」を掲示することで、「今日は出来なかったから、明日には出来るようにしとかなければいけない…」という気持ちだが、一つの目標に向かって芽生え始めた。 (検討課題)これによって、日々の記録がどのように変化していくかは、この取り組みをもう少し継続し確認する必要がある。
2	10	支援内容の報告が、1月に1度の手紙だけとなり、家人に伝わっているかわからない。	ケアプランを基にした支援内容を家人に伝える工夫をする。	現在のお手紙は継続 文字をかける利用者さんには利用者本人からの手紙を書いてもらい、日々の生活の様子を感じてもらう。ミーティングの際に出てきた先月の生活の様子と今月の取り組み内容・目標を家人に電話連絡する	6 か月	

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取 り 組 ん だ 内 容	
実施段階		(該当するものすべてに 印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="checkbox"/>	運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="checkbox"/>	利用者へサービス評価について説明した
		<input type="checkbox"/>	利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="checkbox"/>	運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="checkbox"/>	その他()
2	自己評価の実施	<input type="checkbox"/>	自己評価を職員全員が実施した
		<input type="checkbox"/>	前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="checkbox"/>	自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="checkbox"/>	評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="checkbox"/>	その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="checkbox"/>	普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="checkbox"/>	評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="checkbox"/>	対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="checkbox"/>	その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="checkbox"/>	運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="checkbox"/>	利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="checkbox"/>	評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="checkbox"/>	運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="checkbox"/>	その他()
5	サービス評価の活用	<input type="checkbox"/>	職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="checkbox"/>	「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="checkbox"/>	「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="checkbox"/>	「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="checkbox"/>	その他()